

県立和歌山北高等学校 学校運営協議会

令和6年度 第2回【12月11日（水）13時30分～ 和歌山北高等学校西校舎応接室】

出席者：12名（教職員含む）

議題

- ①学級運営状況及び生徒の活躍について
- ②和歌山さくら支援学校との交流について
- ③意見交換

議論した主な内容

- ①各校舎より7月～11月における運動部の大会での活躍、文化・ボランティア活動や学校行事（体育祭・文化祭）等について報告。在校生の様々な活躍とともに、パリ2024オリンピックに出場し、女子フルーレ団体で見事銅メダルを獲得した東 晟良（H29年度卒業）選手の本校で行われた壮行式・報告会についても紹介された。
- ②「ノーマライゼーション社会の構築」や「共生社会の形成」のため、西校舎と和歌山さくら支援学校との交流は大変重要である。現在、行っている交流について、また、これから進めていくべき交流について、和歌山さくら支援学校がHPで両校の交流を紹介している「やるやん！できるやん！」により説明。その後、運営協議会委員である和歌山さくら支援学校溝端校長より、同一敷地内に設置されている兵庫県立阪神昆陽高等学校・阪神昆陽特別支援学校の様子について説明いただいた。
- ③9月18日に西校舎で開催した生徒総会での議題（体操服登校・スマホの使用・校則の見直し）について意見交換を行った。委員からの主な意見は以下のとおり。
 - ・現在、ほとんどの中学校が夏季の体操服登校を認めているため、体操服登校を認めてほしいとの意識があると思われる。制服を着用することの意義（式典時を含めて）についての認識が必要だと思う。
 - ・高校生として社会人となる大切な時期を迎えている、「社会のルールを守る」ということをしっかり意識させる必要があると思う。

第2回運営協議会の様子

